

宮崎大学医学部附属病院 血液内科 専門医養成プログラム

1. プログラムの概略・特徴

2年間の初期研修を修了した医師を対象に、専門的に血液疾患の診療・研修を行います。希望に応じて、大学病院での診療、関連病院での診療、大学院への進学を選択することができます。大学病院では診療、症例カンファレンス、抄読会、顕微鏡カンファレンス、学会報告、臨床論文発表などを通じて、血液診療に必要な知識と技術を習得します。関連施設でも豊富な症例により臨床経験を積み重ねるとともに地域医療に直接貢献することができます。大学院へ進学した場合は、学位の取得を行い、学問的に指導的な立場の医師となるのを目指すことも可能です。

2. 研修目標

【一般目標】

一般内科および血液専門医としての幅広い知識、技術を身につけ、血液専門医の資格および医学博士の学位を取得することを目標とします。

【行動目標】

血液疾患、特に血液悪性腫瘍の治療を通じて、化学療法、分子標的療法、造血幹細胞移植、輸血療法、抗菌剤・抗真菌剤の使用法、支持療法、緩和医療などを学習します。日本血液学会血液専門医カリキュラム、日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医のための研修カリキュラムに基づいて下記の研修を行います。

- 1) 医の倫理と医療の安全
- 2) 生涯教育 医療情報の収集と分析
- 3) 知識 造血器（骨髄、リンパ節）の形態・機能・病態生理、主要症候
- 4) 診察 リンパ節触診、出血傾向視診、肝脾触診
- 5) 検査 血球算定およびヘモグロビン定量、赤血球恒数（MCV、MCH、MCHC）、塗抹標本の作製と鏡検、網赤血球数、骨髄検査、血球の形態学的検査、造血必須物質測定（ミネラル、ビタミンなど）、溶血に関する検査、血液学における放射線学的診断、表面形質検査、免疫血液学的検査、血漿蛋白検査、体腔液の検査と鏡検、リンパ節の検査、血小板・凝固・線溶検査、血液型と輸血関連検査、染色体検査、分子生物学的検査、造血幹細胞検査（コロニーアッセイ、フロー・サイトメトリー）
- 6) 治療 食事指導、血液疾患の薬物療法、抗腫瘍剤薬、抗血栓療法、輸血療法、瀉血療法、造血幹細胞移植、特殊療法（摘脾、血漿交換、放射線治療、髄注）、無菌管理、予後因子、治療効果の判定、感染症の管理・治療
- 7) 血液疾患・がん症例経験 各種疾患の診断および治療
- 8) がん診療の専門医のための項目 臨床腫瘍学の基礎、がんの診療の基本原則、がん患者の管理、治療の基本原則、支持療法、緩和ケアと終末期ケア、リハビリテーション、心理的、社会的、経済的側面、患者教育、医師主導治験、疾患登録

3. 研修スケジュール

卒後3年目	卒後4～7年目	卒後7～10年
大学病院	大学病院 関連病院 大学院（学位取得） 国内留学	大学病院 関連病院 大学院（学位取得） 海外留学・国内留学

上記以外にも本人の希望に添って自由に研修プログラムを決めることが可能です。

4. 評価

一般内科および血液・腫瘍内科の専門的な知識、技術を習得する。臨床においては、日本内科学会認定医、日本内科学会総合内科専門医、日本血液学会認定血液専門医、日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医を取得する。研究においては論文を作成し医学博士を取得する。

5. 募集人員

10名

6. 実施責任者

宮崎大学医学部内科学講座消化器血液学分野 教授 下田和哉

7. 指導責任者

宮崎大学医学部内科学講座消化器血液学分野 准教授 北中 明

8. 関連施設、学会認定状況

関連施設：宮崎県立宮崎病院、古賀総合病院、宮崎県立延岡病院、宮崎県立日南病院、
独立行政法人国立病院機構都城病院、藤元総合病院等

学会認定状況：日本内科学会教育施設、日本血液学会研修施設、日本臨床腫瘍学会認定研修施設、
日本輸血・細胞治療学会指定施設

9. その他

日本血液学会認定血液専門医：下田和哉、北中 明、久富木庸子、下田晴子

日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医：下田和哉

総合内科専門医：下田和哉、下田晴子

日本輸血・細胞治療学会認定医：下田和哉、北中 明

10. 連絡先

宮崎医学部内科学講座消化器血液学分野

医局長：山本 章二郎

TEL：0985-85-9121

E-mail：ninaika@med.miyazaki-u.ac.jp